



行動規範

毎日体現すべき当社の価値観

開始



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

目次

Workdayの中核的価値観	2	競争する—公平で誠実な競争に徹する	11
全員の責任	2	営業と広告	11
管理職の責任	2	競合情報と公正な競争	11
Speak Up—ためらわず率直に意見し、提起する	3	Workdayの知的財産	12
		他者の知的財産の保護	12
育てる—安全でインクルージョンを大切にする職場を育む	4	尊重する—法規を遵守する	13
尊重とインクルージョンの上に築かれた職場	4	規則を遵守する	13
Workdayは機会均等雇用主	4	法規の遵守	13
差別やハラスメントの防止	5	貿易に関する法律	13
薬物のない職場	5	インサイダー取引	14
健康と安全	5	正確な記録	14
		政府、行政との関係	15
保護する—プライバシー、機密、会社所有物を守る	6	一般への開示	15
情報を安全に保持する	6	配慮する—地域社会を大切にする	16
Workdayの機密情報と専有情報	6	企業の社会的責任および人権	16
従業員のプライバシー	7	政治的貢献	16
他者のプライバシーを尊重する	7	慈善的寄付	17
Workdayの資産とリソース	7	環境リソースへの影響を低減する責任	17
行動する—誠実に行動する	8	グローバルな影響	17
贈答品と接待	8	ポリシーの管理、適用免除、修正	18
利益相反	9		
不適切な支払いを防止する	10		



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

Workday 行動規範

2019年3月

Workdayには、私たちの仕事への取り組みと人間関係の基礎となる6つの中核的価値観があります。「誠実さ」は当社の最も基本的な価値観です。心中をはっきりと口にし、口にすることは私たちの考えそのものです。私たちは実直で、オープンで、公平で、信頼に値する存在として、どのような場合においても正しい行いを徹底できるような力を尽くします。

多くの場合、何が正しい行動であるかは明確です。しかし、これがあいまいになる状況も存在します。行動規範を基に、倫理的かつ誠実に事業を推進する方法を理解することにより、「誠実さ」だけでなく、「素晴らしい職場環境を従業員に提供すること」、「卓越したサービスを顧客へ提供すること」、「革新的な商品・サービスを届けること」、「仕事をしながら楽しむこと」、「長期的な収益力を達成すること」という、当社の他の中核的価値観に焦点を合わせて事業に取り組むことができます。

本規範はWorkdayに日々の成功をもたらす行動について指針を示します。当社の一員として行動する上で、単に仕事をしているのではなく、Workdayで仕事をしているという意識を持ってください。私たちが本規範に従い、本規範を支持することは、Workdayに対する約束であると同時に、従業員同士の約束でもあります。本規範に従わないことで、あなただけでなく、あなたの同僚とWorkdayにリスクが及びます。そして懲戒処分や解雇といった結果を招くことがあります。

本規範は、Workdayの一員として行動する上での従業員各自の責任を知るための重要なリソースです。

Aneel Bhusri

David Duffield





Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

はじめに

この行動規範(「本規範」)はWorkdayの中核的価値観を説明し、Workdayの一員として業務を遂行する上で期待される行動を定めるものです。Workdayは倫理的に行動し、すべての適用法に従って業務を行うことに尽力しています。本規範はWorkdayにおいて従業員が直面しうるすべての問題や状況に明示的に対応するものではありません。一方で、本規範には、従業員がWorkdayの一員として行動する際に従わなくてはならないガイドライン、規則、原則が盛り込まれています。当社はすべての従業員、役員、契約社員(これらを総称して「Workmate」と呼びます)が本規範を熟知し、本規範に従うことを求めます。

Workdayの中核的価値観

当社の中核的価値観は、私たちの行動の指針となります。中核的価値観は、リーダーシップ、日々の意思決定、従業員満足の枠組みを提供します。当社の価値観は単なる志望ではなく、私たちの姿を形作るものです。

 <p>従業員: 従業員の専門的な志望と個人的な志望を満たすことは当社の最優先課題です。</p>	 <p>顧客サービス: 顧客満足を実現するために、全力を尽くします。</p>	 <p>イノベーション: 事業のすべての側面において、独創的なアプローチを大切にします。</p>
 <p>誠実さ: 約束を果たし、相手が誰であろうと公平・公正に扱い、オープンかつ実直・正直に行動します。</p>	 <p>楽しさ: 懸命に働き、大いに遊び、ユーモアのセンスを持ちます。</p>	 <p>収益力: 経済的な成功によって、さらに優秀なツール、ソリューションとサービスが生まれることを確信します。</p>

全員の責任

Workmateには、倫理的な課題と問題を認識し、すべての業務で正しい行いを実践する責任があります。Workdayのすべてのポリシーと、各自に該当する従業員ハンドブック(または、これに相当する従業員向けポリシー)の内容に精通してください。これらの文書では、勤務時の従業員の行動においてWorkdayが期待する事項が詳細に説明されています。自分自身と自分の役割に適用される制限事項に従ってください。制限事項を無視するよう圧力を感じた場合でも従ってください。時には、倫理的に正しい選択肢がはっきりしない場合に問題が発生することがあります。疑問や懸念がある場合は、必ず相談し、指導を求めてください。本規範や当社の価値観から外れると思われることに直面した場合は、それを報告してください。

管理職の責任

他の従業員の監督に当たる者は、その手本となり、常に最高水準の行動を示してください。チームメンバーが自身の責任を理解し、報復の恐れなく安心して問題と懸念を提起できる環境を創り出してください。問題の提起があれば、即座に行動して、懸念に対する適切な措置を取り、問題を修正してください。

部下のWorkmateが本規範を理解し、たとえ倫理的な行動が望ましい業績を阻害することになったとしても、Workdayでは倫理的に事業を遂行することがいかに重要であることを理解していることを確認してください。

賢明な判断

業務上の行動に着手する前に、次の点を自問してください。

- その行動は合法的かつ倫理的で、社会的に責任のある行動か?
- その行動は本規範の精神とWorkdayの価値観に従ったものか?
- その行動が社内、社外に知れ渡った時、Workdayにとって恥となることはないか?
- 有用な知恵や知識を持つ者は他にいないか?



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

Speak Up—ためらわず率直に意見し、提起する

分からないことをそのままにはいけません。本規範に従い、違反の疑いについて懸念を報告する上で役立つリソースが数多く用意されています。疑問、問題または懸念には以下のチームがタイムリーかつ適宜に対応します。

マネージャーと上級幹部は通常、所属先の業務に適用されるガイドラインに精通しており、従業員の質問に答えることができます。

The Workday Integrity Teamは、倫理的行動と法律遵守の企業文化を推進しています。また、本規範の内容を分かりやすく説明、解釈し、Workdayの一員として倫理的に業務を行う方法について指導できます。

✉ Integrity@workday.com

人事部は雇用、福利厚生、職場の問題に関する質問に答えることができます。

✉ 人事プログラムについての一般的な質問や要請は、人事部の[サービスハブ](#)で提出できます。

✉ 職場の問題は、ask.peoplepurpose@workday.comまで、メールにて報告してください。

当社の匿名によるWorkday Speak Upツールは、年中無休で利用できます。これは独立した、安全で機密のプログラムです。大半の地域において、Workmateは匿名で報告することを選択できますが、Workdayが効率よく有効な調査を行うことができるよう、名前を明かし、可能な限り多くの情報を提供することが推奨されます。

✉ Speak Upオンライン - speakup.workday.com

☎ Speak Upホットライン - (800) 325-9976 (米国外からの電話番号は speakup.workday.com にアクセスしてください)

Workmate は社内ですじたあらゆる懸念について、Audit CommitteeのBoard of Directorsに問い合わせることができます。Speak Upツールを使用して、Audit Committee向けの懸念であるかを示すか、または次まで問題を報告することができます。

GeneralCounsel@workday.com

Workday Board of Directors, Audit Committee
Corporate Secretary
6110 Stoneridge Mall Road
Pleasanton, CA 94588

Workdayは、本規範、Workdayのポリシーまたは手順に対する実際の違反または違反の可能性、または違法行為や倫理に反する行動を誠実に報告した者へのあらゆる報復行為を禁止しています。誠実な報告に対する報復行為は、たとえその報告が後に事実に基づかないものであることが判明したとしても、禁止されています。当社では、当社業務に基づくこのような問題を報告した者に対する報復行為を禁止しています。これにはコンサルタントおよび過去の従業員も含まれます。詳細については、[Workdayの告発に関するポリシー](#)をご覧ください。

Workdayは、不正行為に対するすべての申し立てをすみやかに調査します。すべての報告は機密性への配慮を持って取り扱われます。報告に関して連絡を受けたすべてのWorkmateは、調査に参加し、全面的に協力する必要があります。これには偽りのない完全な回答を提供することや、調査の機密を保持することなどが含まれます。調査への協力を怠ることは、行動規範違反になり、解雇を含む懲戒処分に至ることがあります。



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

育てるー安全でインクルージョンを大切にする職場を育む

尊重とインクルージョンの上に築かれた職場

素晴らしい商品を届け、顧客を喜ばせ、持続する企業を築いていくために、従業員の誰もが自分の存在価値と貢献を実感できる、協力の姿勢とインクルージョンを大切にする職場が非常に重要であるとWorkdayは考えています。また、従業員それぞれの異なる経歴、経験、意見、洞察力、知恵、技能を含む多様性は、イノベーションの原動力となり、世界とのより幅広いつながりをもたらすものと信じています。インクルージョンを大切にすることは、職場における絆を強化し、すべてのWorkmateのために平等な機会を設けることは、Workdayの職場としての価値を高めます。

すべてのWorkmateには、一切のハラスメント、威嚇、偏見、違法な差別のない、尊重を重んじる職場文化を維持することが求められます。

Workdayは機会均等雇用主

Workdayは採用、報酬、昇進、懲戒、契約終了に関する判断を含む、雇用に関する一切の判断において違法な差別をしません。これには「保護される特性」に基づく差別が含まれます。Workdayは、障害のある適格な人と、誠実な宗教心や信条を持つ人に対し、合理的配慮を図ることに尽力しています。

保護される特性には以下が含まれます。

- 年齢
- 婚姻状況
- 宗教(信条、信仰または無宗教であること)
- 祖先
- 健康状態
- 性的指向
- 肌の色
- 精神障害または身体障害
- 兵役歴
- 性別(妊娠の有無、出産の有無、または関連する健康状態)
- 出生国
- 連邦、州または地方の法律で保護される他の事項
- 性別認識、性別表現
- 保護対象となる介護または病欠の状況
- 遺伝情報
- 人種



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

差別やハラスメントの防止

Workdayは尊重、寛容、インクルージョンに基づくプロフェッショナルな環境の維持に尽力しています。差別やハラスメントは許されません。差別やハラスメントを一切容認しない方針は、すべてのWorkmateだけでなく、ベンダー、サプライヤー、契約社員、コンサルタント、顧客にも及びます。

本ポリシーの違反に直面したら、躊躇することなく発言 (Speak Up) してください。差別や不適切な行為についての苦情または報告を善意で行う者、調査に協力する者、または該当する法律に基づく権利を行使する者に対して、雇用上悪影響を及ぼす措置が取られることはありません。法律と本規範で保護されているこれらの行為に対する報復は絶対に許されません。



詳細情報のリンク:

[告発と苦情に関するポリシー-差別・ハラスメント・いじめに関するポリシー](#)

薬物のない職場

Workdayは薬物のないプロフェッショナルな職場の維持に尽力しています。勤務中であるかどうかを問わず、酒類、違法薬物、規制物質の使用は職務達成、効率性、安全性、健康に悪影響を及ぼし、WorkmateのWorkdayへの貢献を阻害します。Workdayのポリシーは以下のことを具体的に禁止しています。

- 違法薬物や規制物質の所持または使用、もしくは違法薬物や規制物質の影響下で勤務すること。
- Workdayの業務を遂行中に飲酒運転をする、もしくは違法薬物や規制物質の影響下で運転すること。
- 勤務中に違法薬物や規制物質の譲渡、配布、販売、または購入をすること。



詳細情報のリンク:

[各自に該当する従業員ハンドブックまたはこれに相当する従業員向けポリシー](#)

Workdayが主催するイベントで、法定飲酒年齢の者が適度に飲酒することは許可されています。このようなイベントにかかわる者は、プロフェッショナルで責任ある、賢明な判断力を発揮し、主催イベントのための規定の指示に従わなくてはなりません。Workdayの社交行事への参加は任意です。また、行事に参加するWorkmateに、無理に飲酒を勧めてはいけません。

健康と安全

WorkdayはWorkmateとその他の人々に健全で安全な職場環境を提供することに尽力しています。全員が常時安全に注意を払い、あらゆる労働災害や疾病を報告するだけでなく、危険な状況を報告しなくてはなりません。また、Workdayは職場における暴力行為を一切許容しません。また、Workdayは、自社のいかなる施設、イベント、または顧客の施設への武器の持ち込みを禁じ、いかなる暴力的行為も一切許容しません。



誠実さを体現するために:

一切の労働災害、負傷、疾病および/または安全、保安上の脅威をGlobal Workplace Safety (グローバル職場安全) まで直ちに報告してください。電話+1.925.701.5555または+353 (1) 707.6655、電子メールsafety@workday.com



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

保護する—プライバシー、機密、
会社所有物を守る

情報を安全に保持する

当社は、すべての機密情報と専有情報を、細かな注意を払い、該当する法律に従って取り扱うことに尽力しています。

Workdayの機密情報と専有情報

Workmateは日常的にWorkday、顧客、サプライヤーまたはパートナー企業の機密情報や専有情報に触れています。従業員の信頼に託される機密情報と専有情報は、Workdayおよびその他の者にとって極めて重要なものです。

承認されたプロセスによって情報が公開される時まで、従業員は、すべての機密情報と専有情報の秘密を守ることが求められます。つまり、Workmateが正当な業務上の理由で情報を知る必要がある場合以外は、機密情報と専有情報を他者（例えば家族、友人、Workmate）に口外してはなりません。

不意に機密情報もしくは専有情報を開示してしまうことがないように、十分に注意しなくてはなりません。



誠実さを体現するために：

Workdayについて口外し、記述する際、賢明な判断を忘れないでください。



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

従業員のプライバシー

WorkdayはすべてのWorkmateのプライバシーを尊重し、Workmateの個人情報と機密情報を保護します。



詳細情報のリンク:

[Workday社内プライバシーポリシー](#)

他者のプライバシーを尊重する

Workdayは顧客、見込客、パートナー、ウェブサイト訪問者のデータプライバシーを極めて真剣に受け止めています。各従業員は、職責を果たすために各自がアクセスできる個人データに適用される社内ポリシーと契約上の責任を把握し、熟知する責任を持ちます。

Workdayはまた、開発する商品、提供するサービス、使用するデータのプライバシー保護にも責任を持って対応することに尽力しています。Workdayは当社の**中核的価値観**(特に顧客、誠実さ、イノベーション)を反映したプライバシー原則に従い、すべての行為において、プライバシーを第一とし、責任を持ってイノベーションを推進し、公平さと信頼を守ります。

Workdayの資産とリソース

Workdayは、Workmateが最も効率的に職務を遂行できるよう情報技術(IT)リソースを提供します。これらのリソースはWorkdayの所有物であり、WorkdayとWorkdayで働くすべての者にメリットがもたらされるように、これを利用しなくてはなりません。



誠実さを体現するために:

Workdayの機器を使用する際には、賢明な判断力を発揮してください。個人的な使用が職場環境に影響しないこと、またはいかなる場合であっても当社のポリシーに違反しないことを常に確実にしてください。

ITリソースの限定的な個人使用は許されますが、Workmateや他者の業務遂行に差し支えるようなことがあってはなりません。



詳細情報のリンク:

[Workday所有物の適正使用に関するポリシー](#)

WorkdayはITリソースの使用を監視、調査、検査する権利を留保します。



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

行動する—誠実に行動する

Workdayは、Workdayの一員として行動するすべての者に対し、誠実に、正直に、倫理に背くことなく職責を果たすことを求めます。

贈答品と接待

Workdayは自社以外の商品およびサービスを、それら自身の価格、品質、サービスに基づいて購入しています。同様に当社の顧客も、Workdayの価格、品質、サービスに基づいて当社のサービスを購入することを当社は期待しています。よって、公平に、客観的に、腐敗行為と不適切な影響を排除した上で、すべての取引を進めなくてはなりません。



誠実さを体現するために：

儀礼的なわずかな金額を超える現金または金券類、ギフトカード（AMEX、VISA、マスターカード）、融資、株式を提供または受領してはなりません。

適切で、相応な、正しく記録された接待と贈答品は、信頼と健全なビジネス関係を構築します。しかしながら、従業員、従業員の家族、または代理人が贈答品や接待を提供する、もしくは受け取る前に、以下のすべての要件を満たす必要があります。

- （儀礼的なわずかな金額を超える）現金、ギフトカード、金券類ではないこと。
- 商的慣習に沿っていること。
- 妥当な価値であること。
- オープンで透明性があること。
- 合理的に見て、賄賂や献金と見なされるものでないこと。
- 一切の法律、規制、または相手方当事者の該当するポリシーに違反しないこと。

少額の贈答品を除き、Workdayの職務の遂行に関連して、第三者から一切の収入や実質的利益を受け取ってはなりません。



詳細情報のリンク：

[贈答品と接待に関するポリシー](#)



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

利益相反

Workmateは職責を果たす上で、常にあらゆる面においてWorkdayにとって最善の行動することが求められます。簡単に言うと、Workmateは利益相反を避けなくてはなりません。

利益相反は、個人的な利害や第三者の利害がWorkdayへの忠誠心に影響する時に発生します。Workmate全員は賢明な判断によって、他者の意見を参考にして、実際の利益相反、潜在的な利益相反、または利益相反の疑いを回避しなくてはなりません。利益相反が疑われる状況におけるベストプラクティスは、その状況を直属のマネージャー、Legal & Compliance Department、またはWorkday Integrity Teamに相談するまで、自ら行動しないことです。実際の利益相反や潜在的な利益相反の回避、または開示することを怠った場合、Workmateの解雇も含む懲戒処分の対象となります。

潜在的な利益相反は珍しいものではなく、適切に開示・管理されれば、必ずしも禁止されるものではありません。利益相反は以下のように、様々な形で発生します。

- Workdayと直接競合する会社、同類の会社、またはWorkdayが投資している会社に個人的に投資した場合。
- 副業する、他社の顧問・役員になる、または他社を所有すること。
- Workdayの職務遂行に伴って得られる商機。
- Workdayと家族や他の親類との間で取引をすること。
- Workdayにおける役割に関係して、直接、または家族や親しい友人を通じて、過剰な贈答品や業務上の接待もしくは取り計らいを受けること。
- 部下、上司、またはマネージャーと個人的な関係を築くこと(ただし、その関係をWorkday Integrity Teamに開示した場合は除きます)。
- Workday社員が株主である、または取締役を務める会社にWorkdayが投資する場合。

その行動が業務遂行能力に影響する、またはWorkdayに実際の利益相反が発生するとWorkdayが判断する場合、当社は利益相反を緩和するため、そうした行動をやめるよう要求したり、また他の措置を講じることがあります。



誠実さを体現するために：

透明性は重要です。利益相反が生じても、必然的に本規範の違反につながるわけではありません。しかしながら、利益相反を開示しないことは違反になります。直属のマネージャーまたはWorkday Integrity Teamに相談し、利益相反の開示を行ってください。



詳細情報のリンク：

[利益相反ポリシー](#)



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

不適切な支払いを防止する

Workdayは信頼性と透明性のある方法で顧客とやりとりを行います。また、当社は顧客の判断に影響を及ぼす不適切な支払いを行うことはありません。

腐敗行為は当社の顧客に弊害（例えば、顧客が必要以上の支払いをするなど）をもたらします。不適切なビジネスによって利益を得ることよりも、常に顧客の信頼を勝ち取り維持することの方が重要です。

誠実さを体現するために：

倫理的に問題があるように感じられる行動または支払いは常に報告します。



Workdayが賄賂、キックバック、その他の不当な利益によって、事業の優位性を確保することは絶対にありません。

- 当社は、いかなる相手にも賄賂またはキックバックを提供したり、提供を申し出ることはありません。
- 当社では、許認可を確保するための支払いおよび日常的な行政上の定型的な手続きを早めるための少額の支払い（いわゆる「円滑化のための支払い」）など、あらゆる種類の不正な支払いを禁止しています
- 当社は、いかなる取引においても、取引条件と取り決めの明確化と簡素化に努めます。
- 当社は、誠実さにおいて定評あるパートナー企業を採用し、（パートナー企業の）担当者が倫理に反している、または賄賂を支払っている可能性があれば、これを報告します。
- 当社は、政府役人また顧客に申し出る一切の贈答品、接待、出張・旅行が、合法かつ妥当で適切なものであることを徹底します。当社が米国の国家公務員にビジネス上の優遇措置を提供することはありません。
- 当社は、候補者の資質に基づいて候補者を雇用します。顧客や公務員の利益のために雇用を決定することはありません。
- 当社が慈善寄付を行う場合、正当な慈善目的を支持して行い、取り計らいのために寄付を行うことはありません。
- 当社が贈答品や接待を求めたり、唆したりすることはありません。



詳細情報のリンク：
[腐敗行為防止ポリシー](#)



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する



競争するー公平で誠実な
競争に徹する

営業と広告

Workdayは自社商品・サービスの特長と品質を武器に競争します。Workdayが行う、顧客もしくは見込客とのコミュニケーションは、信頼に値する、正確なものでなくてはなりません。当社は自社商品・サービスについての説明が正しいことを実証できなければなりません。すべての販売促進、広告、マーケティング資料・素材は適切な広告情報承認プロセスを経なければなりません。

競合情報と公正な競争

Workdayは自由でオープンな競争を信奉し、公平かつ誠実な方法および優れた商品・サービスによって競合他社に勝つことができると確信しています。

以下の情報を手に入れようとする、または使用することは絶対あってはなりません。

- 競合他社の入札に関する情報。
- 専有情報をコピーし、書き写したもの、またはその写真。
- 従業員に過去の雇用主について尋ね入手した、その雇用主の情報。
- 企業秘密保護関連の法律で保護されている可能性のある技術データ、エンジニアリングデータを含む情報。

当社は以下を実践し、公平な競争によって事業成功を達成します。

- いかなる形であれ、競争を制限する、公式または非公式な一切の契約、同意、協定を回避します。
- 入札において不正操作せず、または他者による不正操作をほう助せず、競争的なビジネスプロセスを尊重します。
- 当社の独立パートナー企業が顧客に課す価格について指図しません。



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

Workdayの知的財産

イノベーションは当社の中核的価値観の一つです。Workdayの誰もが知的財産の創生に懸命に取り組んでいます。当社は新技術の発明、新商品、新規事業のアイデア、コンセプト、クリエイティブコンテンツ等の当社が生み出す情報を高く評価し、大切にしています。これらの知的財産を保護するための適切な手順を特定し、採用しなければ、Workdayはこれらに伴う権利と競争上のメリットを失うことになります。



詳細情報のリンク：
[オープンソースに関するポリシー](#)

他者の知的財産の保護

Workdayは公正に競争に参加しています。このため、従業員は他社に属する未公表情報、制限情報、または機密情報を、その会社の許可なく所有または使用してはなりません。この規則は、競合他社および過去の勤務先に関する情報のほか、当社の顧客およびビジネスパートナーの情報にも適用されます。

自分自身とWorkdayを守るためには、すべての当事者は、Legal & Complianceにより承認された適切な機密保持契約を締結するまで、他社の未公開情報、制限情報、または機密情報を求めたり、受領してはなりません。不本意に第三者の未公開情報、制限情報、または機密情報を所持することになった場合は、直ちに当社のLegal & Complianceに連絡してください。

スライド、プレゼンテーション、図面、図表などの資料やコンテンツを作成する場合、それらを一から作成しなくてはなりません。Workmateは適切な許可なく、他者が所有するコンテンツをWorkdayの資料の一部として使用、複製、包含してはなりません。



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

尊重する—法規を遵守する

規則を遵守する

Workdayは規則に則って事業を運営します。このことは、当社がその中核的価値観に従い、適用される国、州、地方の法規を守って事業を行うことを意味します。

法規の遵守

Workdayは多くの国で事業を行っており、本規範において、すべての適用される法律、規制、法的要件を取り上げることができません。しかしながら、Workdayが事業を行っている国と、Workmateが出張、出向する国におけるすべての規制と法的要件に従うことは不可欠です。Workmateは各自に適用される法規を把握し、これらを熟知する必要があります。

法的要件と本規範が異なる場合は常に、そのうちの最も厳格な基準を適用します。法律や規制に反する一切の作為または無作為、もしくは非遵守の相当なリスクを呈する一切の作為や無作為については、Legal & Complianceの助言と指導に/従ってください。

貿易に関する法律

Workdayが出荷する物理的商品はそれほど多くはありませんが、Workmateは輸出規制と貿易関連の法律について注意する必要があります。Workdayはグローバル企業であるため、ビジネスの相手をよく知っておくこと、および国や地域を越えて共有または移転される情報とはどのようなものであるかを知っておくことが必須です。全従業員は以下の点に注意する必要があります。

- 輸出規制。特に、国境を越えて送信する情報と技術データに関する規制
- 特定の国の政府、法人または個人とのビジネスを制限・禁止する経済制裁
- 違法なボイコット。また、ボイコットへの参加を裏で隠れて要請すること



誠実さを体現するために：

貿易規制または輸出規制が適用されるかどうか分からない場合、または個別の案件においてどの貿易規制または輸出規制が適用されるか分からない場合に、それらを推測してはなりません。行動する前に問い合わせてください。



詳細情報のリンク：

[グローバル取引ポリシー](#)



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

インサイダー取引

Workdayは、各自の役割を問題なく遂行するために、Workmateと情報を共有しています。時には、社外投資家に公開される前に、Workday、その顧客、サプライヤー、またはパートナー企業に関する機密情報をあなたが受け取ることがあります。



詳細情報のリンク:

[Workdayの証券取引に関するポリシー](#)

Workdayの従業員、役員、取締役、代理人、契約従業員は、別の会社に関する重要な未公表情報を入手した上で、Workdayまたはその別の会社の証券を取引してはならず、またそのような証券の取引を行うよう他者に内報してはなりません。

誠実さを体現するために:

ある会社の重要な未公表情報を入手した場合、その会社の証券を取引してはなりません。そのような会社には、Workday、その他の会社も含まれます。



重要情報とは、平均的な投資者が投資判断上重要であると考えられる情報を指します。未公表情報とは、まだ一般に共有されていない機密の情報を指します。この種の情報を利用して証券を売買すること(もしくは、売買するよう他者に内報すること)は、インサイダー取引法とWorkdayのポリシーの違反になります。

誠実さを体現するために:

署名権限を有し、正確で信用できると見なされた文書(契約書を含む)にのみ署名します。確信できない場合は、質問してください。



正確な記録

Workdayは正確で理解可能な情報を適切なタイミングで一般に公開するものと期待されています。このような情報の整備はまた、当社が賢明な事業判断を下し、財務上、監査上、およびその他の規制上の義務を果たすために役立ちます。すべてのWorkmateはWorkdayの記録と財務報告の正確性に責任を持ち、常に以下に従わなくてはなりません。

- 信用できる、明確で正確な財務記録を作成・維持すること。
- Workdayの支出、契約、購入の要件に従い、必要な許可を取得すること。
- 絶対に虚偽の取引を記録してはならず、または取引を偽装してはなりません。また、補足文書を使用することを避ける。
- 記録文書を適切な方法で保存、維持、破棄すること。これには、訴訟ホールドまたはその他のホールドの要請に従うことを含む。
- 監査、調査、捜査に協力すること。
- 取引の本質的事実は絶対に隠ぺいしてはなりません。
- 問題であると思う一切の行為を報告すること。

Workdayは、適用されるすべてのマネーロンダリング防止法令とテロ資金対策法令を遵守し、合法的な出所の資金のみを受領し、第三者による脱税を援助したり、促進するような業務・取引は一切拒否します。

財務報告を担当するWorkmateは特別な倫理上の義務を負います。その義務とは、最高水準の実直さと誠実さを持って行動し、利益相反を避け、本規範に対する説明責任を促進することです。これらの従業員は、重大なリスクを認識し、法的な指導を仰ぐタイミングを知り、法律、ビジネス倫理、または本規範のすべての規定に反すると考えられる一切の行為を最高経営責任者、Chief Legal Officer、および/またはAudit Committeeに速やかに報告することができなければなりません。

誠実さを体現するために:

記録の背景にある取引の実態を正確に反映した業務記録を作成・維持してください。これは当社の財務報告書が正確であることを確実にするために役立ちます。



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

政府、行政との関係

Workdayは国、地域、州、地方の政府または行政との良好な関係を大切に、当社が事業を行っているすべての地域において、公正かつ誠実な方法で政府の役人およびその他の者と、そのような良好な関係を築いています。

Workmateは政府もしくは行政との取引において信頼される存在となり、実直で忌憚のない交流を育まなくてはなりません。また、政府職員または政府代表者に虚偽の情報や紛らわしい情報を提供するよう誰かに指図したり、促したりしてはなりません。



詳細情報のリンク:

[公共セクター事業における契約とやりとりに関するポリシー](#)

Workmateは以下についても注意する必要があります。

- 政府の職員、従業員または役人と取引をする際は、本規範、腐敗行為防止ポリシー、他の関連するポリシーおよび現地の法律に注意を払います。
- 政府役人との間で贈答品またはビジネスの接待を授受する場合は、それがどのようなものであれ、Workdayインテグリティチームまたは法務部、コンプライアンス部、およびコーポレート・アフェアーズ部から事前に承認を受ける必要があります。
- 事業上の判断に不適切な影響を及ぼす目的で慈善寄付を行ってはなりません。
- Workdayを代表して政治献金をしてはならず、献金を約束してはいけません。
- 捜査に関する記録を破棄するよう誰かに指図したり、促したりしてはいけません。

一般への開示

Workdayの社外(マスコミ、投資家、世間一般など)に公表するすべての情報は正確で完全で一貫性あるものでなくてはなりません。一般向けまたは規制当局とのコミュニケーションにおけるすべての開示は完全に、公正に、正確に、適時に、理解可能に行われる必要があります。

Workdayまたはその事業活動に関する情報の共有は、承認されたWorkday広報担当者のみによって行われる必要があります。報道関係者と業界アナリストからの問い合わせは、Workdayコーポレートコミュニケーションチームに付託し、財務と投資に関する問い合わせは、Workdayインベスターリレーションズ部に付託してください。これらの問い合わせで尋ねられた質問には自身で回答しないで、問い合わせがあったことを、直属のマネージャーに知らせてください。当社の[ソーシャルメディアポリシー](#)では、ネット上でWorkdayに言及する時に注意すべき事項について、詳しく説明しています。

マスコミ関係者やWorkdayと無関係の者がWorkdayの施設、イベント、コロケーションセンターに突然現れ、映像撮影や写真撮影を求めたり、その他の問い合わせをしたりした場合は、その訪問者にWorkdayの事業について一切話さず、直ちに会社に報告してください。



誠実さを体現するために:

マスコミ(新聞、ラジオ、テレビ)、アナリスト(金融アナリストまたは業界アナリスト)、またはソーシャルメディアユーザー(ブロガー、評論家)が接触してきた場合、応答しないでください。その代わりに、直属のマネージャー、Workdayコーポレートコミュニケーション部、またはLegal & Complianceに連絡してください。



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する



配慮するー地域社会を大切にする

企業の社会的責任および人権

Workdayはあらゆる人の根本的尊厳を信じ、個人の権利を尊重します。当社は世界各地で事業を行っており、人権の尊重に尽力しています。

当社のすべての業務において：

- 当社は強制労働と搾取的な児童労働を非難し、現代奴隷制および人身売買のない職場とサプライチェーンを推進します。
- 当社は従業員の合法的な結社の自由を尊重します。
- 当社は、公平な報酬を従業員に与え、基本的なニーズが満たされることを手助けし、従業員が知識、技能、能力を向上できる機会を提供します。
- 当社は、個人の資格と実績のみに基づいて雇用、報酬の提供、昇進、懲戒を行い、その他の雇用上の条件を提供します。Workdayは社内でのいずれのレベルにおいても、保護される特性に基づく差別はしません。
- 当社は安全で健全な職場環境を提供します。
- 当社は、自社の事業活動における環境への影響を低減する目標を設定することによって、環境パフォーマンスの継続的な向上に取り組みます。
- 当社は、エンタープライズ向け機械学習を責任をもって開発および配備していく上での指針となる一連の主要原則を忠実に守り、それによってもたらされる幅広い社会的影響に対処します。
- 当社は当社製品と事業運営において紛争鉱物を使用することを非難し、当社のサプライヤーにも同様のことを行うことを求めます。
- 当社は個人のプライバシーを尊重しており、プライバシーは基本的人権であると見なします。

政治的貢献

従業員は個人的貢献を通して 政治的プロセスを支援することはできませんが、Workdayの代理として行うことはできません。また、公職候補者や政治団体のために、勤務時間外にボランティア活動を行うことができます。ただし、そのために会社の電話、電子メール、コンピューター、消耗品など、一切のWorkdayのリソースを使用してはなりません。



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

慈善的寄付

Workdayは、従業員が個人的にかかわっている団体に、募金活動やボランティア活動に対するマッチング寄付を提供することによって、当社従業員がボランティア活動をして地域社会に貢献することを奨励しています。しかしながら、政治的活動の場合と同様に、Workdayが特別に認可または支持していない慈善団体やその他の非営利団体を従業員が支援するためにWorkdayのリソースを使用することはできません。

誠実さを体現するために：

Workdayの地域社会活動とWorkdayのリソースの許容される使用については、Workdayグローバルインパクトおよび従業員生活部に問い合わせてください。



環境リソースへの影響を低減する責任

Workdayの成功の度合いは、財務的な指標だけでなく、地域社会および自然環境との関係において、どのように事業を実施しているかを見て判断されると信じています。企業各社はグローバルエコシステムに与える影響について責任を負わなければならないと当社は考えます。

ぜひ、当社の「[グローバルインパクトレポート](#)」をお読みください。環境に良い影響を与えながら成功する会社を築くWorkdayの取り組みについて、重要なトピックを詳しく掲載しています。



詳細情報のリンク：

[環境サステナビリティに関するポリシー](#)

グローバルな影響

当社はWorkdayファウンデーションとWorkdayグローバルインパクト部を通して、地域あるいは世界中において様々な方法で社会貢献を行うことを誇りとしています。地域社会のために時間を費やし、専門知識を活かし、直接的に貢献することは、Workdayの企業文化の中核です。

当社には、地域社会への投資の指針となる3つの主要な優先事項があります。

- *Workmateの貢献*: 当社は、地域社会に参画することを希望するWorkmateを支援します。
- *無償の貢献*: 当社はスキルに基づくコンサルティングプロジェクトによって、Workmateの時間と才能を捧げ、社会的問題の解決への手助けを支援します。
- *利他的貢献*: 当社は恵まれない市民の経済的自立をさらに後押しするために、労働力開発の取り組みに投資します。



Speak Up



育てる



保護する



行動する



競争する



尊重する



配慮する

ポリシーの管理、適用免除、修正

Workday Board of Directorsは、本規範に盛り込まれているビジネス行動基準を規定し、その遵守を直接またはその委員会を通じて監視します。Workday's Chief Legal Officerは本規範の遵守を確実にすることに責任を持ち、またその役割を果たしながら、Board of Directorsとその委員会の直属となります。

Workdayは、当社のポリシーと手順を継続的に見直し、更新することに尽力しています。そのため、本規範はBoard of DirectorsまたはBoard of Directorsが任命する者による修正の対象となります。本規範のいずれの条項の適用免除も、Chief Legal Officerの書面による承諾を必要とします(または、適用免除の対象が取締役および執行役員である場合は、Board of Directorsの書面による承諾が必要)。また、当該の適用免除は、連邦証券取引法および適用される証券取引規則で義務付けられている通り、速やかに開示されます。



2022年3月